

11 自然災害等で発令される特別警報・警報・注意報発令時の対処について

福岡県立伝習館高等学校  
生徒指導部生徒指導課

情報 (気象庁)		授業	生徒の対処		学校の対処
			登校前発令	登校後発令	
気象情報	特別警報 (*警戒レベル4・5)	終日休校	①午前6時に特別警報が発令されている場合は終日休校とし、自宅または避難所で安全確保を行う。特別警報の発令はテレビ・インターネット等で確認する。	特別警報が解除されるまでは下校させない。	①情報の集約・確認(3主幹) (1)気象情報等…教務主幹(TV・インターネット) (2)交通機関…生徒主幹(西鉄・西鉄バス) (3)近隣校の対応…進路主幹
	警報 (*警戒レベル3)	暴風(台風)	①午前6時に暴風警報が発令されている場合は、課外授業、1~4時限を休講とする。5時限目以降の授業については、午前11時の時点で判断する。 ②午前11時に暴風警報が発令されている場合は、終日休校とする。	※気象情報や地域の実情に応じ、下校させることもある。  ①安全を確認した後、下校させる場合(確認事項) ・交通・道路情報の確認 ・保護者引き取りの有無 ・集団下校者の確認 ・下校時の安全指導 ・帰宅時の学校への報告(Teamsにて報告)	②管理職・学年主任と検討 ③教職員への指示…教頭 ④保護者宛事前通知メール・HPへの記載…教頭 ⑤教育委員会への報告等…校長
		大雨	①安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡した上で、自宅待機し、安全が確認された時点で登校させる。 ②警報が解除された場合は、気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全であることを確認した上で登校させる。	②安全に下校することが困難な生徒がいる場合 保護者と連携をとり、適切な対応を行う(個別対応)	⑥保護者対応…各担当副任
		洪水	③公共交通機関が不通の場合は、自宅待機とする。開通後は、地域の実情等を家族と相談した上で、安全に十分注意して登校する。  ※休校等の連絡は、決定次第、保護者等宛へメール・学校HPにて発信する。		【前日に判断できる場合】 15時の段階で判断し、終礼で生徒に連絡する。 (1)台風(暴風)に関しては、進路予想を確認し、暴風圏に入る可能性がある場合。 (2)翌日の登校時に1時間に20ミリ以上の強い雨が降ると予想される場合。
	大雪				【当日判断の場合】 6時の段階で上記①(1)~(3)を総合的に判断し、決定次第即時対応する。
地震	警報(予報)			①地震情報と地域の実情を総合的に判断し、危険と判断すれば避難行動をとり、安全が確認できれば下校させることもある。	
津波	警報・注意報			①津波情報と地域の実情を総合的に判断し、危険と判断すれば避難行動をとり、安全が確認できれば下校させることもある。	
気象情報	注意報 (*警戒レベル2・1)	平常授業	①今後の気象情報や地域の実情を家族と相談し、安全であることを確認した上で登校する。 ②安全に登校することが心配される場合は、学校に連絡した上で自宅待機(避難)し、安全が確認された時点で登校する。	①気象情報と地域の実情を総合的に判断し対応する。	
<p>【備考】 休校等の判断を決定次第、緊急連絡掲示板(伝習館HP)・メールにて情報を発信する。 ※大雨・洪水・大雪・暴風警報・特別警報等の発令及び解除の情報はテレビ・インターネット等で確認する。 ※事前に休校等の連絡がなされている場合はこの限りではない。 *警戒レベルは各市町村が発令するものです。近隣でレベル3以上が発令された時は周辺の状況を確認して行動するこ</p>					